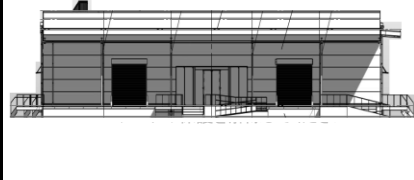


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新製造A棟新築計画	階数	地上1F
建設地	厚木市恩名五丁目1800番1、1800番6、1938番1、1945番2	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	130人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年12月23日
敷地面積	9,465 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社南関東流通一級建築士事務所
建築面積	7,812 m ²	確認日	2025年12月23日
延床面積	7,802 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社南関東流通一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 76% (35 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外のオンサイト手法: 76% (35 kg-CO₂/年・m²)

④上記+オフサイト手法: 76% (35 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている	その他 特に無し	
Q1 室内環境 特に無し	Q2 サービス性能 空調・給排水配管に耐用年数の長い材料を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ガス機器を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=76%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される